

第4回
定例会
6月8日
～21日

平成23年第4回定例会は6月8日に招集され、一般質問、案件を審議し、21日に閉会しました。審議された内容は次のとおりです。

条 例

■上士幌町税条例の一部を改正する条例の改正について
地方税法の改正に伴い、町民税及び固定資産税に係る条例の内容を一部改正しました。

■上士幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
国民健康保険の財源確保のため、国民健康保険税の税率と賦課限度額を4万円引き上げました。

報 告

■平成22年度上士幌町一般会計繰越明許費繰越計算書の

報告について

水道会計繰出金（臨時分）ほか10事業の7940万1千円を翌年度に繰り越したとの報告がありました。

■平成22年度上士幌町水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
簡易水道施設改良事業の1830万3千円を翌年度に繰り越したとの報告がありました。

■例月出納検査報告

監査委員から平成23年2月～平成23年4月分の出納検査の結果、いずれも相違ないことを確認したとの報告がありました。

⑥月から⑨月まで
ノーネクタイでもお許しを



議員も 理事者も 職員も
暑さ対策しております



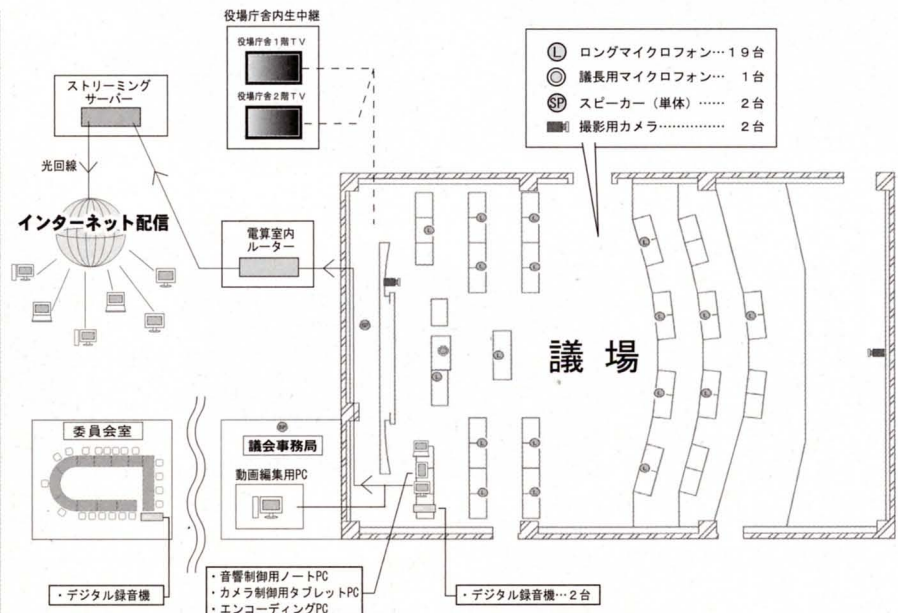
今年度事業

議場の音響設備更新とインターネット中継システムが導入されます

現在の議場音響設備については、設置から既に30年近く経過しており、老朽化が進んでいます。そのため、現在のアナログ方式の設備を更新し、デジタル化を行うことで音質改善を計ります。

またインターネット動画配信による議会中継システムを導入し、町議会の様子を皆様に周知し、議会及び行政に対する可視化を目指します。

導入時期については、12月定例会において本格稼働する予定で、事業予算額については、1220万1千円となっております。





一般議案

■財産の取得について

地方自治法に基づき、除雪トラック1台をUDトラックス道東株式会社から4152万5千4百円で取得するため可決しました。

■定住自立圏形成協定の締結

について

上士幌町定住自立圏形成協定の議決に関する条例に基づき、帯広市との間において定住自立圏形成協定を締結するため、協定書の内容について可決しました。

意見書

■地方財政の充実・強化を求

める意見書の提出について

■住民の安全・安心なくらし

を支える交通運輸行政の充実を求める意見書の提出について

以上2件の意見書を可決し、

国会及び関係行政庁に送付しました。

予算

■平成23年度上士幌町一般会計補正予算(第2号)

総額から1823万4千円を追加し、55億5443万6千円としました。

■平成23年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額から156万2千円を追加し、7億4911万2千円としました。

■平成23年度上士幌町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

総額から1万3千円を減額し、7764万3千円としました。

■平成23年度上士幌町介護保険特別会計補正予算(第2号)

総額から1万5千円を追加し、5億0883万円としました。

■平成23年度上士幌町一般会計補正予算(第3号)

総額から1658万8千円を追加し、55億7102万4千円としました。

■平成23年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額から1217万7千円を追加し、7億6128万9千円としました。

9月 定例会

6日(火)

7日(水)

27日(火)

傍聴に来ませんか?

AM10:00～ 役場3階議場にて

※議事の進行により休会になる場合があります



一般質問



町理事者へ
一般質問等の内容が全文掲載された議事録については、図書館にて閲覧できます。

就学援助制度の充実を

山本 和子 議員



問 ①就学援助制度の今の基準は、前年度収入が生活保護基準の一・三倍以下だが、一・五倍に広げ、また突然の離職等にも適用させるべき。

②国は平成22年度から支給項目にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を加えたが、町も加えるべき。

③申請漏れがないように、周知徹底を図るべきである。

答 ①当面、現行のままで対応する。

②平成24年度に向け、前向き

災害に備えた町づくりのために

山本 和子 議員

に検討する。
③再度、広報誌や学校を通じ、周知する。

問 ①ダムの決壊、原発事故等、災害・被害を想定した対策の検討を。

②避難場所の安全や障害者対策は十分か。

③町の備蓄状況について。

④自主防災組織の現状。ふれあいを大切にする町づくりの推進を。

答 ①ダムは決壊の恐れはないと関係機関から回答受けている。原発は北海道の指示に沿って対応する。

②学校は補強工事実施。

③コンビ二と協定している。

平成23年度に非常食を購入。
④1ヶ所できています。日頃より、関係機関や団体と連携。

東日本大震災を契機に本町の災害対策と福島原発震災事故を教訓とした脱原発について

佐々木 守 議員



問 ①糠平ダム決壊、丸山噴火時の防災マニュアルは。

②原発事故等の放射能対策などの防災計画について。

③東日本大震災について千年に一度との認識で話されている根拠は。

④また脱原発をふまえた町づくりについて。

答 ①地域防災計画において対応します。

②想定していません、今後の状況を注視し国道の協力体制

が必要である。
③科学的根拠に基づいて話していない国の形も変えるような大きな震災との認識で話している。
④原子力発電を奨励することや原子力による町づくりをすすめることはありません。

第5期上士幌町総合計画策定に向けての新規就農施策について

佐々木 守 議員

問 ①新規就農の取り組みについて実情はなかなか成果があがっていないと思うが要因分析をしているか。

②後継者の居ない農家戸数など、実態と意向を掌握しているか。

③農業の従業員確保対策は十分と評価しているか。

答 ①国道の支援制度を活用し町独自で農業担い手育成事業を実施しているが課題が多く、農協の意向や連携が不可欠。今後深堀した協議が必要。

②農家170戸中、酪農家17

戸、畑作農家11戸。
③今後必要な対策を検討いたします。

基幹産業である畑作振興施策について

山本 弘一 議員



問 ①平成22年度に小麦の乾燥施設を農協で増設したが、調整加工料、13集団の乾燥経費、コンバイン更新等経費について、農協を含めて支援対策が必要であると考えるが。

②緑肥対策について復活させる方向で検討できないか。

答 ①小麦に限らず畑作振興上必要な対策を講じ、農協と共に協議を進めていく。

②土壌改良と地力の保持対策が必要と理解する。農協と協議しながら有効な支援対策を検討する。

平成23年第5回臨時議会は7月14日に招集されました。審議された内容は次のとおりです。

一般議案

■工事請負契約の締結について

地方自治法に基づき、北門地区農道改良舗装工事の請負契約を株式会社川村組と582万75千円で締結するため可決しました。

予算

■平成23年度上士幌町一般会計補正予算(第4号)

総額から1883万円を追加し、55億8985万4千円としました。

北海道町村議会議員研修会に参加しました

7月5日札幌市で開催されました「平成23年度北海道町村議会議員研修会」(北海道町村議会議長会主催)に議長、議員11名が参加しました。講師は東京大学先端科学技術センター教授・御厨貴氏、テーマは「今後の政党政治の行方」です。

御厨氏から民主党政権について、①本音主義で裏工作や調整をしない ②いつまでに物事を決める という点について鈍感であり、プロセス重視になっている。会議をすることで仕事をしているという気になっているなどの評価がありました。今後、政権交代があっても、どちらかの政党が数多くの勢力を持つことはない。2016年頃に政治変革の結果が出るだろう。との予想をされました。その後、経済評論家の内橋克人氏が「今後の日本経済展望」というテーマで講演されました。

翌日は、農産物直売所や農作業体験施設などを有する北広島市の「ホクレン・くるるの杜」、苫小牧市の「道の駅・ウトナイ湖」、苫小牧市が環境省から委託を受け、運営している「ウトナイ湖・野生鳥獣センター」を調査・視察しました。両日、学習したことを今後の議会活動に活かして参ります。

[文責・角田]



▲研修会の様子



▲ホクレン施設 くるるの杜



▲ウトナイ湖・野生鳥獣センター

ぎかい日誌

〔6月〕

- 3日 議会運営委員会
- 8日 第4回議会定例会
- 14日 総務文教厚生常任委員会
- 産業経済建設常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 21日 第4回議会定例会
- 総務文教厚生常任委員会(議員公開)
- 議会だより編集特別委員会
- 30日 北十勝4町議会正副議長懇談会(士幌町)

〔7月〕

- 5日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 8日 議会運営委員会
- 11日 町村議会新任議員研修会(釧路市)
- 14日 第5回議会臨時会
- 27日 北十勝4町議会議員PG大会(鹿追町)
- 議会だより編集特別委員会
- 〔8月〕
- 2日 総務文教厚生常任委員会
- 22日 産業経済建設常任委員会
- 23日 総務文教厚生常任委員会

議会は傍聴することができます

傍聴の手続は傍聴人出入口備え付けの「傍聴人受付簿」に氏名・住所・年齢を記入するだけです。



議会だより編集特別委員会

- 議長 杉山幸昭
- 委員長 山本和子
- 副委員長 角田久和
- 委員 山本弘一
- 委員 中村保嗣